

第1章 仕事のスピードは「決断力」で決まる

- 仕事が速い人は決断力がある
- 決断力の5大メリット
- 「決断力」のトレーニング法
- 時間を決めて行動する
- やると決めたら迷わない

第2章 仕事は見切りで効率化する

- 優先順位決定の3要素
- 「見切れない仕事」と「小仕事」の取り組み方
- 自問自答で常に問いかける

第3章 タイムスタディで効率化を図る

- タイムスタディを活用する
- 本当に時間をかけるべき仕事は何か
- 仕事の全体を展望しよう

第4章 スピードアップ仕事術 6つの知恵

- 時間ドロボーの克服
- スキマ時間の活用
- プライムタイム中心のスケジュール
- タイムロックしてみよう
- 明日病の克服
- 所要時間を正確に予測する

第5章 仕事は水曜日までに終わらせる!

- 仕事を1週間で考える
- スケジュールは自分で決める
- ルーティンワークに決断を持ち込む
- ステークホルダーとも上手にかかわる

1 仕事が速い人は 決断力がある

なぜ仕事が遅れるのか

アレもコレも片付けないといけない仕事は山ほどあるのに、どれから手をつければいいのかわからない。スケジュールを考えて仕事をしているはずなのに、なぜかいつも残業になってしまう。

そんな悩みを抱えていませんか？

仕事の効率化という言葉をよく耳にしますが、仕事を効率化するとは、同じ量の仕事を質を変えずに短時間でやり遂げることです。

同じ目的地であっても、遠回りをし、ムダに寄り道をしていたら、なかなかたどり着くことができないでしょう。結果は同じだとしても、プロセス（過程）により、大きな違いが出るのです。どの道を通ったら、最短時間でたどり着くことができるのか、それは仕事でも同じことです。

近道を通して（といってもラクをするのとはちょっと違います）、目的地（結果）にたどり着くための力がつけば、仕事は速くなるのです。

もちろん、仕事の質が高くてスピーディ。このような効率的な仕事の仕方を身につけたいとだれもが思うでしょう。そのための土台になるのが「**決断力**」なのです。

「決断力」が仕事を速くする

では、なぜ「決断力」が効率の良い仕事の土台になるのでしょうか。それは、どの仕事を「今」するべきか、どちらの仕事のほうを優先するべきか、だれに会いに行けばよいのか、だれと交渉すればよいのか、どの企業をターゲットとして営業していくのか……、それらをすべて決定していく力が「決断力」だからです。

目先のスケジュールに追われて仕事をするのではなく、全体を視野に入れて、今自分は何をすればよいのかを考え、決断し、実行する。実行を伴った決断こ



そが、本当の決断力なのです。

例えば、一つひとつはスピードのある仕事をしたとしても、本筋と関係のない仕事から始めるようでは、意味がないと思いませんか。本当は最優先で企画書を書かなくてはいけないのに、明日でも間に合う出張の旅費精算を優先しては、仕事の効率化にはなりません。

つまり何を先に行うのか、どこから行うのか、すべてはあなたの「決断力」にかかっているのです。

仕事というのは、方法や進め方の基本を学んで繰り返せば、必ず速くできるようになります。しかし、いくら速くても決断力がないまま進めれば、時間のムダが多くなります。

本来ならやらなくてもいい仕事をする、効率化を優先したために調査不足で一からやり直すなど、これらは情報を選び、最適な方法を見つけ出す「決断力」がないせいなのです。

「これはきちんと調べてからやる」「これはほかの人の手を借りて行う」と瞬時に決断し、実行することが仕事の効率化につながるのです。

2 決断力の 5大メリット

決断力のメリットとは

決断力があれば仕事は速くなる。これは前項でも述べました。ここではさらに決断力のメリットについて考えてみましょう。

決断力がないと何かを行うときに迷ってしまい、必要以上に時間がかかってしまうことがあります。では、決断力があると、どのような“いいこと”があるのでしょうか。決断力のメリットは仕事に関するものばかりではありません。プライベートでも有益になることがあります。そこで、仕事とプライベートの両面から決断力について考えてみましょう。

Q 決断力があることによって、あなたが「得をすること」、メリットとは何でしょうか（制限時間5分、最低3つは書きましょう）。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

どうでしたか。3つ以上書けたでしょうか。“こんなこと書いていいのかな？”と迷ってしまい数を出せなかった人は、まだまだ決断力がありません。まずやるべきことは数多くのアイデアを出すことで、あとで絞り込めばいいのです。

決断力の5大メリット

決断力の代表的なメリットには、次の5つが挙げられます。それぞれについて詳しく見ていきましょう。

- 1 仕事の効率化が達成できる
- 2 考える時間が取れる
- 3 自信がつく
- 4 安心できる
- 5 人に協力してもらえる

1 仕事の効率化が達成できる

前述したように、スピーディに仕事をこなしていく力が身につくので、同じ労力でより大きな成果を出すことができます。

誤解しないでほしいのですが、効率化というのは、単に作業のスピードを上げていくということではありません。

もちろん、テキパキと手際良くスピーディに仕事を行うことは大切です。しかし、スピードを上げることができるといっても限界があります。また、実際にスピードアップのために、社員全員が社内を全力で走り回っては危険です。

むしろ、「今」するべき仕事を決める、優先順位を決める、といった段取りを考えて“決める”ことこそが、仕事の効率化の決め手となるのです。

2 考える時間が取れる

決断力がつくと、必然的に今までよりも「あなたが使える時間」が増えてきます。というのは、今まで迷っていた時間がほとんどなくなるからです。

また、効率的に仕事を進めることもできるようになるので、その分、「空き時間」が増えます。

しかし、よくありがちなのが、空き時間がせつかくできたにもかかわらず、無計画に新たな仕事を詰め込んでしまうことです。これでは何のために効率化したのかわからないでしょう。

この空いた時間は、計画的に新しい仕事に使うとともに、その一部は、じっくりと「考える」時間として取っておきましょう。

行った仕事を振り返って、さらに効率的な方法がないかどうかを考えたり、自分だけにしかできない仕事は何か、1ヵ月、半年、1年といったスパンでの計画を練る、自分のキャリアデザインを含めて、ワークライフバランスをどうするのか、などを考えるために使いましょう。

3 自信がつく

「自分は決断ができた」「しっかりと決められた」ということは、たとえ小さなことであってもあなたに自信をつけてくれます。

特に今まで迷いやすいタイプの人が、その場その場でしっかりと決めることができるようになると、いい気分になれます。また、決めたことを実行できたとき、「私ってすごい」「ほくもなかなかやるな」という気持ちにもなれ、自己承認できるのです。

職場では、大事な仕事を任されている人ほど、決断の機会は多いものです。部長のほうが新入社員よりも「重大な決断を下す」ことがはるかに多いのはわかると思います。

小さな決断ができない人間は、大きな決断もできません。小さな決断を積み重ねることによって、大きな決断も恐くなくなるのです。

今は大きな決断でなくても、「決断を下した」という積み重ねが、あなたの自信を養ってくれます。

4 安心できる

道に迷ったときのことを思い出してください。行きたい場所はあるけれど、今自分がどこにいるのかわからない。この先どのように動いていけばよいのかと、悩んだり迷ったりしているときは、とても不安ではないでしょうか。

右か左かわからないけれど、「よし、右だ!」ととりあえず勘でもいいので決めて行動すれば、身動きがとれない状況よりは不安は軽減されているはずです。このように仕事でも最終的な結果はどうなるかわからないという漠然とした不安があったときに、迷ってばかりいるのではなく、「よし、ここまではやってみよう!」と目標を決め、動くことが大切です。そうすることによって、迷っているときよりも安心して取り組めるからです。もし選択した道を間違ったとしても、気づいたときに修正すればよいのです。

「もう決めてある」というのは、安心して次のステップに進むための条件といえます。あなたにも、サッと決断し、安心して次の仕事、作業に取り組んで



いってほしいのです。

5 人に協力してもらえる

決断力のある人は、「あの人は頼りがいがある」と思われますし、自信を持って仕事をし、成果を上げていますので、人から信頼されます。

しかも、決断力によってゆとりのある仕事をしているので、ほかの人が困っているときに、手伝ってあげることができ、さらに信頼関係を深めることができます。

したがって、もし逆に何かを「協力してほしい」とときには、周囲の人たちが協力してくれます。結果として、あなたは自分のやるべき仕事に集中できるので、さらに成果を上げることができるのです。